

9月25日 稲村ヶ岳

若林 憲治

山名	稲村ヶ岳(1726m) 大日岳(1700m)	山行名	個人山行
ルート	母公堂⇒法力峠⇒山上辻⇒稲村ヶ岳⇒大日山⇒山上辻⇒法力峠⇒母公堂		
山行日	2021年 9月 25日(土)	天候	晴れ
参加者	リーダー： 若林 サブリーダー 渡邊 (男性) 小川 廣瀬 永井 土岐 田中 (女性) 倉光 日野 吉田 大西 秋山 吉澤 原田 幾田 玉置 蒲田 全 17名参加		

ルート概略図 	コースタイム			
	地名	時：分	地名	時：分
母公堂	発 8:45	稲村ヶ岳	着 13:05	発 13:05
法力峠	着 9:55	大日山	着 13:30	発 13:35
	発 10:00		発 13:35	
山上辻	着 11:40	山上辻	着 13:50	発 14:10
	発 12:10		発 14:10	
稲村ヶ岳	着 12:50	法力峠	着 15:30	発 15:35
	発		発 15:35	
		母公堂	着 16:25	

山行報告

今回の参加者 総勢 17名(女性 11名 男性 6名) 車山行であり 4台の車で移動 うち2台は女性ドライバー参加申し込みの時から車提供可能との提案頂きお願いする事にした。

6時05分精華町役場前のドラッグストア ユタカにて合流後晴天出発 早朝でもあり混雑なく当初予定通り 8時20分過ぎ母公堂到着

母公堂前の駐車場に幸い2台駐車出来効率的に行動出来た。8時45分3班に分け登山開始。稲村ヶ岳(1,726m)登山コースの歩行距離は少し長いですが、頂上付近以外全体的には なだらかな起伏の少ないコースでも有りほぼ登山計画案通り 7時間30分(計画予定時間)⇒7時間40分で全員無事に下山する事が出来た。

稲村ヶ岳頂上付近 5.0m程の岩場危険個所有りロープ設置もロープに頼る事無く皆さん昇り降り 山頂展望台からは大峰山系や遠くに八経ヶ岳(1,915m)をも望む 360度大パノラマを見る事が出来参加者全員景観に感動。下山途中 大日山にも足を延ばし女性軍華麗に岩場挑戦登頂大変頼もしく思えた。下山後は、温泉入浴がセット登山でもあり全員で洞川温泉入浴後帰路に就く。参加者の皆さんコロナ対策と安全登山 安全運転にご協力頂き感謝 お疲れ様でした。

ヒヤリハット なし

## 感想

永井繁一

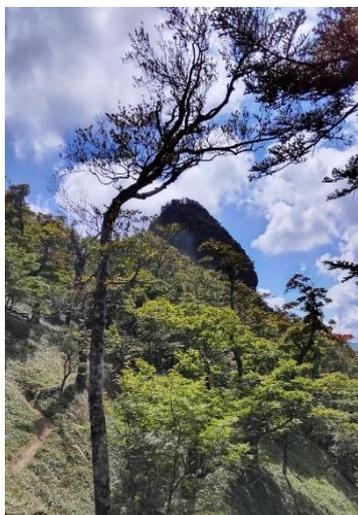
一回目の初心者教室が修了した直後に、稲村ヶ岳への山行があったと聞いた。山の事は全く解らない超初心者だったが、名前が気に入りいつか登りたいと思っていた。

母子堂登山口から稲村小屋までは、足場が不安定で滑りやすい区間が数ヶ所あったが、大部分は緩傾斜の歩き易い山道である。紅葉には少し早いですが、所々色づいた木々が見られ季節を感じた。

小屋で昼食をとり、Wさんと早めに出発。キレット～稲村ヶ岳にきつめの岩場があり、安全対策としてロープを張るとの事で、ロープワーク（バタフライノット）のレクチャーを受けた。稲村ヶ岳山頂には大峰の山々が見渡せられる展望台があり、天気にも恵まれ素晴らしい山並みを見る事ができた。その後キレットに下り、登りに見た 天に向け大きく突き出た大日山へ。岩場、鎖（ロープ）、階段、梯子があり、中でも木製階段は踏板が壊れかけており、特に慎重な昇降を心掛けた。久しぶりの岩場は楽しかった。

下山途中にきれいな紫の花を見つけ、名前を聞くとトリカブトとの事。きれいな物には毒があるんですね（怖） 緩傾斜の登山道下りは、地味にダメージを与えてくれる。登山口に戻った時には足が少し痛んでいた。その後、洞川温泉で汗と疲れを流して帰路へ。下山後の温泉は最高！

CL・SLさん、車出し運転手の皆さん、参加のみなさん、楽しい一日をありがとうございました。





大西良子

「久しぶりに山を歩いたなあ」が一言感想です。

温泉大好きな私が洞川温泉ルートの案内にひかれ参加申し込み。母公堂を出発。法力峠からゆっくりと標高を上げて行くルート。山道に取り付けてある木や鉄の梯子が崩れそうになっており大丈夫かな？不安を感じる時、前を歩く N さんが何度かサポートしてくださり無事通過。(感謝感謝) 途中、木々の間からとんがり帽子の様な大日岳を見上げる事ができました。天気も良く稲村岳展望台では大峰の山々を 360 度パノラマで眺め見る事ができ、帰りに泥川温泉にも入浴できてよかった。次回、温泉と山のセット山行楽しみにしています。

蒲田史

車を降りると、ヒヤッと寒いくらい。標高はその時点で900m。道幅が狭く緩やかな斜面が延々と続きます。昼食場所の小屋付近までくると見晴らしもあり、ゆっくりできました。そして稲村ヶ岳へ。途中低い笹が一面生えており、とても素敵な景色です。だんだんと傾斜もきつくなってきます。頂上には展望台があり、山々に囲まれた雄大な景色が目に入ります。一度下り、次は大日岳へ。荷物を置き、身軽になって登りました。大日岳は遠くから見るとポコッと突出した山です。あんな急斜面はよう登らないと怖じ気づいてましたが、登ってみると梯子や壊れかけた階段もあって楽しく登ることができました。

ご一緒してくださった皆様、お世話になりありがとうございました。

田中正和

稲村ヶ岳は2年ぶりでした。かなり長い登りの印象が強かったので、いろいろと覚悟していました。しかしながら比較的ゆるい登りの連続だったので、以外に早く山上辻の広場に到着し、ピクニック気分で食事を楽しむことができました。前はここでザックを置かせていただきましたが、今回はザックを担いだまま稲村ヶ岳、大日岳の急斜面に挑戦しました。バランスを崩すと危険なところも多々ありましたが、スリルを楽しむことができました。汗をかいた後は洞川温泉センターへ、露天風呂で疲れを癒し最高の気分で帰ってきました。

渡邊久美

稲村ヶ岳は22年前に家族で登ったことがあり、山の詳細は覚えていませんでしたが穏やかな日だまりの印象が残っており、もう一度登ってみたいと思っていました。

その時は電車とバスを乗り継ぎ、温泉宿に泊まり川遊びなども楽しみました。

当時は私にとって大峰の山々は遠くにある山でした。今は皆さんのおかげで日帰りで楽しむことが出来ます。

今回もお天気に恵まれ、ゆったりとした木漏れ日の道を楽しめました。ご一緒していただいた皆様、ありがとうございました。お疲れ様でした。

## 倉光 展子

私は今老人ホームに入っている。コロナ禍の中、計画していた遠征（屋久島、九州南部）が近づくにつれ、施設の住人として、あきらめざるを得ない状況に追い込まれていた。遂にあきらめて、キャンセルし、腐っていたところ、若林さんから電話が入ってきた。「稲村ヶ岳、急に参加できない人が出てきて、空きがあるけど、参加しますか」と。幸運を喜び、すぐにお願ひした。

若林さんの企画はいつも充実していて、惹かれるものがある。6月の鎌ヶ岳コースはこれまでと違って。期待にたがわず、とても楽しかった。山を堪能した。「登った！」と満足の塊になって、下山にかかったとき、突然前を歩いている若林さんから「倉光さんを尊敬します」と声がかかった。「なんのこっちゃ」と一瞬驚いたが、次第に“表彰状”をいただいたような気分になって、内心悦に入っていた。しかしその後また山行は途絶えて、3か月後比良山系武奈ヶ岳へ、そして一週間後、稲村ヶ岳。私は決して勤勉な登山者ではない。気まぐれ、出たところ勝負の登山である。しかしあえて言えば、体調が悪くない時は、以前より山行が楽しいと思ひ、大自然に心揺さぶられている。生きていてよかった、と思ひ、登れた幸運に感謝する。

今回は大峰山系の1726mの稲村ヶ岳。修験道の山上ヶ岳に行けない女性たちが代わりに登る権利を勝ちとった山と聞いている。鎌ヶ岳や武奈ヶ岳のような厳しき、しんどきはなく、秋の兆しを見つけながら、久しぶりの山友会の仲間、若い人たちとおしゃべりを楽しみながら、腐葉土のフカフカ道を心地よく踏みしめながらの楽しい山行だった。

稲村ヶ岳には、まだ山登りの初心者の頃初めて登った。バスをチャーターして、観光気分で行った。登山後はふもとの洞川温泉に泊まって宴会をした。宿のおそろいの着物で、街に繰り出し、陀羅尼助という漢方薬を買ったことを思い出す。今のように高級車にぜいたくにらせてもらって、高速道路をビュンビュンとぼして、1日で行けるのもいいけれど、田舎っぽい非能率もそれなりにいい。何よりも地球温暖化に対する後ろめたさから解放される。山友会のおかげで、大峰山系でも、奥駆道南部は別として、たくさんの山に登れた。和佐又でのテント泊から始まった大普賢岳、七曜岳コース、弥山、八経ヶ岳から天川温泉まで、大滝、青根が峰から吉野まで・・・ 認知症に入りかけた頭には鮮明に思い出すのは困難だけれど、その時、その時に感じた感動、喜びは残っている。

リーダーの若林さん、サブの渡邊さん、車を提供して、長い距離を運転してくださった4人の方々、同行のみなさん、ありがとうございました。

2021,09,25

